

人吉市耐震化緊急促進アクションプログラム2025

1 目的

人吉市耐震改修促進計画に定めた目標の達成に向け、住宅所有者の経済的負担の軽減を図るとともに、住宅所有者に対する直接的な耐震化促進、耐震診断実施者に対する耐震化促進、改修事業者の技術力向上、一般市民への周知・普及等の充実を図ることが重要である。

このため、人吉市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム（以下「アクションプログラム」という。）では、毎年度、住宅耐震化に係る取組を位置付け、その進捗状況を把握・評価するとともに、プログラムの充実・改善を図り、住宅の耐震化を強力に推進することを目的とする。

2 位置付け

アクションプログラムは、人吉市耐震改修促進計画第5章第2住宅の耐震化の促進に基づき策定する。

3 令和7年度（2025年度）の計画

取組内容	財政的支援	
	耐震診断に係る費用の一部を助成し、耐震診断の結果、倒壊の危険性があると判断された住宅について、耐震改修設計、耐震改修工事、建替え工事、耐震シェルター工事を行う住宅所有者等に対して補助を行う。また、令和6年能登半島地震における甚大な被害状況を踏まえ、さらなる耐震化を促進するため、令和7年度から令和8年度に限り、対象住宅の拡充及び一部補助の補助限度額の増額を行う。	
取組内容	普及啓発等	
	① 住宅所有者に対する直接的な耐震化促進 ・市内全ての平成12年5月31日以前に着工した戸建て木造住宅所有者及び罹災証明書（平成28年熊本地震）を発行した者にダイレクトメールを送付（啓発チラシを封入） ②耐震診断実施者に対する耐震化促進 ・耐震診断結果報告時にリーフレットを配布 ・過年度までに耐震診断実施後、耐震改修を行っていない者にダイレクトメールを送付（①共通取組） ③改修事業者の技術力向上等 ・県や関係機関と連携した、耐震改修に関する技術講習会を年1回以上実施 ・事業者の技術講習会については、県等が開催する講習会を活用し、事業者に通知を行う。 ④一般への周知普及 ・広報誌「広報ひとよし」を活用し補助事業の周知を実施 ・庁舎ロビー等を利用し、耐震啓発用のブースを1週間程度設置し、リーフレット等を展示する。	
目標	・耐震診断実施：5戸 ・耐震改修設計費補助：1戸 ・耐震改修工事費補助：1戸	・耐震改修設計工事一括補助：4戸 ・建替え設計工事一括補助：4戸 ・耐震シェルター工事補助：1戸

4 前年度（令和 6 年度）実績・自己評価

実績	財政的支援	
	- 耐震診断実施：2 戸 - 耐震改修設計費補助：0 戸 - 耐震改修工事費補助：0 戸	- 耐震改修設計工事一括補助：1 戸 - 建替え設計工事一括補助：0 戸 - 耐震シェルター工事補助：0 戸
	普及啓発等	
	- 補助事業対象者へダイレクトメールの送付を実施 - 広報誌、HP 等を活用し補助事業の周知を実施 - 庁舎ロビー等を利用し、耐震啓発用のブースを1 週間程度設置し、補助事業の周知を実施 - 県や関係団体と連携した耐震改修に関する技術講習会や講演会等を開催	
自己評価	課題	
	今後も事業の推進に向け、引き続き補助制度の利用促進を図る必要がある。	
	改善策	
	- 補助制度概要パンフレット配布や補助制度周知ポスター掲出等により補助制度を積極的にPR する。建築確認申請事前調査報告書に係る事務を行う部署と連携し、積極的に補助制度を案内する。 - 耐震化に従事する建築士等に耐震改修に関する技術講習会の開催について積極的に周知し、参加を促し、耐震化について幅広い知識を持つ技術者の育成に努める。	